

ウェブ集客増加へ

サイト作成の第一歩

集客を増やすためのウェブ戦略は、不動産業でもその重要度が指摘されている。その中で、いかに上位検索されるサイトを作るかは、頭を悩ませる点だろう。SEO専用ソフトの販売などを行うディテイルクラウドクリエイティブ（東京都北区）は、パートナー企業と共に毎月10万回ほどの検索を行い、どういったサイトが上位検索されるか、グーグル検索エンジンの考え方を分析している。その分析結果を基に、定期的にセミナーを行っている同社の南雲宏明社長（写真）に、上位検索されるためのポイントを聞いた。



ディテイルクラウドクリエイティブ 10年7月に設立。SEO専用ソフトの販売などを行う。南雲宏明社長が同社発足以来続けている無料のSEOセミナーは、累計5000人超が受講。現在も東京都墨田区で行っており、同社HP（<http://detail-cc.com/>）で参加者を募集している。

SEO対策セミナーを定期開催する 南雲社長に聞く

で、外部要因は貼られている他サイトのリンクの数やその質など。5年前までは圧倒的に外部要因が重要だったが、最近の傾向では内部の作り込みが重要視されてきた

「具体的にはどういった作り込みが評価されるか。ページ数は多いほど良い。また、1ページ当たりの文字数も多い方が良い傾向になっている。3年前は、上位検索されるサイトの1ページ当たりの平均は500文字程度だったが、現在は1900文字。ページ数や文字数が多いのは情報量が多く、見応えがあるサイトと判断されている」

「文章を書くうえでのポ

イントは。「検索するワードと関連する言葉や固有名詞が多いと上位に上がる。例えば、立川」「不動産」で上位検索されるサイトにしたいと考えた場合、立川エリアの施設など周辺情報が細かく入っていると良

バランスも必要。例えば、一番下に長い文章があるサイトをみる必要がある。下にいくほど見られないだろうと検索エンジンが判断するため、長い文章を盛り込んで、これでは効果がない」

「では、一番上に文章を

から見ても一定程度評価される要素を入れていく。そのバランスが最も重要だと思つ」

「ほかに取り組むべきことは。」

「グーグルウェブマスターツールというものがある。無料で登録できる。検索エンジンと対話できるツールで、自社サイトの直すべき点などのメッセージが送られてくる。メッセージが来たらウェブに詳しい人に相談するだけでも役に立つので、登録を勧めたい。ただ、本来のお客様が見にくいと思ってしまう。HPが何のためにあるか。お客様が満足することが重要。それに加えて、検索エンジン

ページの作り込みが重要

今、上位検索されるために必要なことは。「一言で言うと、お客様に良い情報を提供しよう」と一生懸命に必要なのは内部要因と順位を決めるのは外部要因。内部要因はページ

「ページ全体の文字の配置

多く入れるとどうか。「検索エンジンに愛される方法としては良いかもしれない。ただ、本来のお客様が見にくいと思ってしまう。」

「ページ全体の文字の配置

「ページ全体の文字の配置